

# 【蒲島県政3期目】創造的復興に向けた重点10項目について

総務常任委員会資料  
平成29年11月議会 知事公室

H29.11.30時点

項目名 [担当部]	H28年度	H29年度	H30～H31年度	H31年度末の 到達イメージ
<b>「すまい」の再建</b> [健康福祉部、土木部]	・避難所の解消 (11/18) ・仮設住宅の供与 ・応急仮設住宅の整備完了 (11/14)	・住まい再建に向けた支援(相談窓口の設置等) ・被災者意向調査 ・くまもと型復興住宅の推進 ・宅地復旧、住宅耐震化補助 ・二重ローン対策 ・災害公営住宅の整備、既存公営住宅等への移行支援 ・見守り体制の充実・強化	・住まいの再建4つの支援策の創設 リバースモーゲージ利子助成[自宅] 自宅再建利子助成[自宅] 民間賃貸住宅入居費助成[民間賃貸] 転居費助成[自宅・民間賃貸・公営住宅] ・被災者に応じた仮設住宅の供与期間の延長	被災者の意向に沿った「すまい」の再建・確保を完了
<b>災害廃棄物の処理</b> [環境生活部]	・市町村仮置場の開設 ・災害廃棄物処理実行計画の策定 ・県二次仮置場の整備、運営 ・地方財政負担の最小化	・災害廃棄物処理実行計画の改訂	・災害廃棄物処理の2年以内完了(～H30.4月) 全市町村完了(3月)	発災後2年以内(平成30年4月まで)に災害廃棄物の処理を完了
<b>阿蘇へのアクセスルート(道路、鉄道)の回復</b> [土木部、企画振興部、農林水産部]	【R57】(北側) ・ルート決定 ・工事着手 (現道) ・無人施工 【R325】阿蘇大橋ルート ・架け替え位置決定 ・橋梁形式決定 【嶺山ルート】 ・暫定開通 【長陽大橋ルート】 ・応急復旧により開通(8/27)	トンネル工事契約 早期開通に向け整備促進 橋梁工事契約 早期開通に向け整備促進 県砂防・治山工事の実施 【JR】豊肥本線(肥後大津駅～阿蘇駅) 国調査を踏まえ、支援スキーム等を協議	早期開通に向け整備促進 早期本格復旧に向け整備促進 早期本格復旧に向け整備促進 上下分離方式の導入を決定(10/31) 南阿蘇鉄道復旧工事(立野駅～中松駅間)	2020年開通 2020年開通 県として最大限の働きかけを行い、国と連携して早期の復旧を図る
<b>熊本城の復旧</b> [教育庁、土木部]	・熊本城復旧基本方針の策定(市)	・天守閣復旧工事着工(市) ・熊本城復旧基本計画の策定(市) ・石垣・宇土櫓(続櫓)等部材回収、復旧に向けた地質調査等(市) ・熊本城復旧復興に伴う基本計画策定支援、人的支援	・基本計画策定(市) ・見学通路の設置(市)	2019年(H31年)国際スポーツ大会までに、熊本市とともに復興のシンボルとして天守閣を復旧
<b>益城町の復興まちづくり</b> [土木部]	・熊本高森線4車線化都市計画決定、事業認可	意向調査アンケート 測量・詳細設計・用地境界立会い 地形測量 境界立会い 丈量図作成 道路詳細設計 土地単価の決定	・用地取得手法検討 用地交渉着手 用地買収 木山地区土地区画整理事業 県による施行表明 ・モデル地区の先行整備 ・土地区画整理・公園事業なども併せた計画的なまちづくりの支援	熊本高森線の4車線化について、平成31年度までにモデル地区を先行整備～以降順次整備

現時点の状況と取りまとめたものであり、今後の状況に合わせて、内容修正等を行う。

現時点 赤: 前回(5/31時点)からの変更点 青: 既に達成・完了した取組み 黄: 復旧・復興の進捗のメルクマールとなるもの

# 【蒲島県政3期目】創造的復興に向けた重点10項目について

H29.11.30時点

項目名 [担当部]		H28年度	H29年度	H30～H31年度	H31年度末の 到達イメージ
次代を担う力強い地域産業の創造	被災企業の事業再建 [商工観光労働部]	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明会実施(H28.6月～)</li> <li>グループ補助金による施設・設備の復旧支援</li> <li>制度融資による資金繰り支援</li> <li>被災企業に対する税制特例</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>復興事業計画認定済: 513グループ</li> <li>交付決定済(件数・金額): 3,251件 / 約799億円</li> <li>予算措置額: 約1,475億円</li> <li>H28融資実績: 約1,123億円</li> <li>H29新規融資枠: 1,000億円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>申請事業者の交付決定完了(H29年度末目標)</li> <li>事業者の状況に応じた制度継続(国に要望中)</li> <li>必要に応じ延長</li> </ul>	グループ補助金を活用した施設・設備の復旧等による事業再建完了
	被災農家の営農再開 [農林水産部]	<ul style="list-style-type: none"> <li>営農再開を目指す農家数: 約12,000戸</li> <li>再開率: 92.3%</li> <li>大豆転作等で営農継続支援</li> <li>農家等が自ら行う応急工事・簡易な復旧工事支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再開率: 93.1%</li> <li>営農施設の復旧: 経営体育成支援事業 着工率約7割</li> <li>農地の復旧(災害復旧工事の実施): 契約率約5割</li> <li>農家の自力復旧への支援(復興基金)</li> <li>農地等被災農業者への生活支援(復興基金)</li> <li>創造的復興による農地の大区画化</li> <li>営農を継続しながら工事を実施...全体を4工区に分け工事を実施</li> <li>秋津地区: 1工区(表土剥ぎ、客土材搬入、基盤整地工事、表土戻し)</li> <li>阿蘇谷地区: 2工区(表土剥ぎ)</li> <li>乙ヶ瀬地区: 3工区(表土剥ぎ、客土材搬入、基盤整地工事、表土戻し)</li> <li>4工区(表土剥ぎ、客土材搬入、基盤整地工事、表土戻し)</li> <li>1次工事(表土剥ぎ、排水路復旧工事)</li> <li>2次工事(客土材搬入、基盤整地工事、表土戻し、道路・水路復旧工事)</li> <li>土地改良法手続き(市町村・受益者の同意徴収)</li> <li>設計・換地計画</li> <li>工事実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>再開率: 98.4%</li> <li>再開率: 100%</li> </ul>	農地及び営農施設の復旧等による営農再開100%完了
世界とつながる新たな熊本の創造	大空港構想NextStageの実行 [企画振興部]	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大空港構想NextStage」策</li> <li>コンセッション方式の導入表明・国への要請(県)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内線・国際線が一体となった新たなターミナルビルの整備等</li> <li>基本スキーム案公表</li> <li>民間投資意向調査(6/30)</li> <li>新ターミナルビルの設計・建設を担う運営権者の選定(国)</li> <li>国内線別棟ビルの設計・建設(国)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集要項公表</li> <li>運営権者選定</li> </ul>	阿蘇くまもと空港の新たな運営者の決定及び国内線別棟ビルの運営開始
	八代港のクルーズ拠点整備 [土木部、商工観光労働部]	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震強化岸壁整備の調査(国)</li> <li>港湾計画の変更(県)</li> <li>八代港が国際クルーズ拠点を形成する港湾に選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規事業採択(国)</li> <li>岸壁工着手</li> <li>耐震強化岸壁及びクルーズ船専用岸壁の整備(国)</li> <li>大型バスの駐車場等の整備(県)</li> <li>旅客ターミナルの詳細検討・整備(船社)</li> <li>おもてなしエリアの整備の詳細に係る船社との協議</li> <li>拠点形成計画の作成・公表</li> <li>港湾法の改正</li> <li>おもてなしエリア整備方針に係る船社との協議</li> <li>オプションツアー実態調査</li> <li>魅力ある観光資源を活かした新たなクルーズ旅行商品の造成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協定締結等(県と船社)</li> </ul>	専用岸壁、おもてなしエリアの整備により、年間200隻程度の大型クルーズ船が寄港可能な受入環境を実現
国際スポーツ大会の成功 [商工観光労働部]	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019女子世界ハンドボール大会</li> <li>ラグビーワールドカップ2019</li> <li>熊本国際スポーツ大会実行委員会設立</li> <li>レガシープログラム「くまもとハロープログラム」策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画策定</li> <li>プレ大会(8/3～8/6)</li> <li>日本代表戦(6/10)</li> <li>ラグビー試合日程発表(11/2)</li> <li>スタジアム(熊本県民総合運動公園陸上競技場)整備</li> <li>公認チームキャンプ地選定</li> <li>準備完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女子ハンドドイツ大会(12/1～12/17)</li> <li>実施計画策定</li> <li>プレ大会</li> <li>LOC(組織委員会地方支部)設置</li> </ul>	世界女子ハンド ラグビーW杯	2つの国際大会(女子ハンド、ラグビー)の成功を通して復興する熊本を国内外に発信

現時点の状況をとりまとめたものであり、今後の状況に合わせて、内容修正等を行う。

現時点

赤: 前回(5/31時点)からの変更点 青: 既に達成・完了した取組み 黄: 復旧・復興の進捗のメルクマールとなるもの